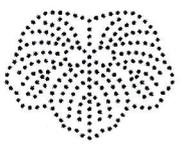


「リゅうま伝」は高野の分身がお客様のところへご挨拶に向う。とう気持ろでお届けしてほす。



リゅうま伝

70号
2025年9月26日
高野 龍馬

「北の国から」

8月、家族で北海道を旅して
きた高野です。我家では初
めて旅行会社の企画したパッ
ケージ旅行を利用し、現地で
もバス移動。

初めてバスガイドさんのいる
旅に子ども達もドキドキし
ているようでした。

訪れたのは定山溪、旭川、富
良野、札幌、小樽。

その中で、もう一回行くな
ら何処?と訊かれましたら富良
野のファーム富田でしょうか。

ガイドさんに、富田忠雄さん
という人が、ラベンダー畑を作
り上げた話を聞いて感動し

たのです。有名な所なので
行かれた方も多いことでしょう。
富田さんは2歳の時に、ラベ

ンダーの美しさにとりつかれて
お父さんから引き継いだ農
地をラベンダー畑に変えて
しまします。

当初ラベンダーは鑑賞用に
植えたのではなく、オイルを抽
出して、香料として企業に販
売してたんだそうです。

そしたら最初から大成功し
たんです。ところが192年に
人工香料ができたために、ラ
ベンダーを栽培しても採算が

合わなくなるのです。ある資
料によると北海道の生産量
は百分の一以下になっています。

結果、わずか数年で富良野
のラベンダー畑は富田さんの所
一軒に。その富田さんも生活
苦からラベンダーを切る覚悟
を決めて、観光客に「今年が

ラベンダー観れるのも最後だ
からよく観て、てね」と声を
かけていたんだそうです。

すると翌年奇蹟が起る
のです。北海道中からファーム

富田に見学者が訪れるよう
になったのです。JR北海道の

ホスターにファーム富田のラベン
ダー畑の写真が使われたこと
がきっかけでした。

そして旅行者から教わった手
作りのサシエ(白い袋)を販売
してみると、飛ぶように売れ

たのだとか...。

それから数年経つとまた奇
蹟が起るのです。テレビ
ドラマ「北の国から」で、子ども

達が生き別れたお母さんと
ラベンダー畑で再会するシ
ーンが放映されるのです。

ネット調べると、そのロケ
地がファーム富田のように書
かれています。ガイドさんの

話では別の所だったと言
います。けれど全国から勘違い

した人達が集まるようにな
ったのだそうです。

これで全国区となり、今では
年間、百万人の観光客が訪
れBtoCのビジネスモデルで
儲かっていらっします。

でも、その話以上に私が感動
したのは、施設や農機具の
美しさです。見事に手入れ
されていて、ディスプレイ
よりもキレイです。ラベンダー
だけでなく、全てのモノを活
かした経営。

ぜひ北海道、富
良野を旅した際
はファーム富田に
行ってみてくだ
さい。



たかの財形事務所
〒819-0374 福岡市西区千里 707-13
☎090-3407-2123
<https://www.takanozaikai.com> x-11 fp.takano@gmail.com